

第12回認知症医療介護推進フォーラム
認知症の共生と発症・進行抑制に向けた新たな挑戦
「認知症の発症・進行抑制およびウェルビーイングに向けたアプローチ」

認知症の方のウェルビーイングに向けた 歯科的対応と食支援

2025.1.26

COI開示

申告すべき利益相反はありません

枝広あや子

東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と精神保健研究チーム
認知症と精神保健 研究室

歯科医師 専門副部長 枝広 あや子

認知症の人への歯科医療を確保するための取り組み

歯科医療従事者の人材育成と啓発の歴史

とりくみの最終目標

認知症を、歯科治療が出来ない理由にしない！

日本老年歯科医学会は「認知症患者の歯科的対応および歯科治療のあり方：学会の**立場表明**」を発表した。

「**歯科医師の認知症対応力向上研修**」の教材開発を行い、全国で実装。

歯科が明記！

新オレンジプラン

歯科医師・薬剤師・看護師の認知症対応力向上研修

日本老年歯科医学会とAMED研究チームが共同で「**認知症の人の歯科治療ガイドライン**」を発行した。

日本老年歯科医学会から「**日本老年歯科医学会の認知症関連アクションプラン2023**」を発行した。

認知症施策推進大綱

在宅の多職種連携による認知症対応力向上研修

病院以外の看護師等の認知症対応力向上研修

歯科医師認知症対応力向上研修教材見直し

歯科衛生士を対象とした教材開発！

歯科を含めた多職種連携教材開発！

当事者にとっての障壁は？

認知症の人への歯科医療提供のためのシステム開発に“**本人の経験**”を取り込むため、認知症の人の歯科受診における経験を調査した。

2024

認知症基本法

2023

2021

2020

2019

2018

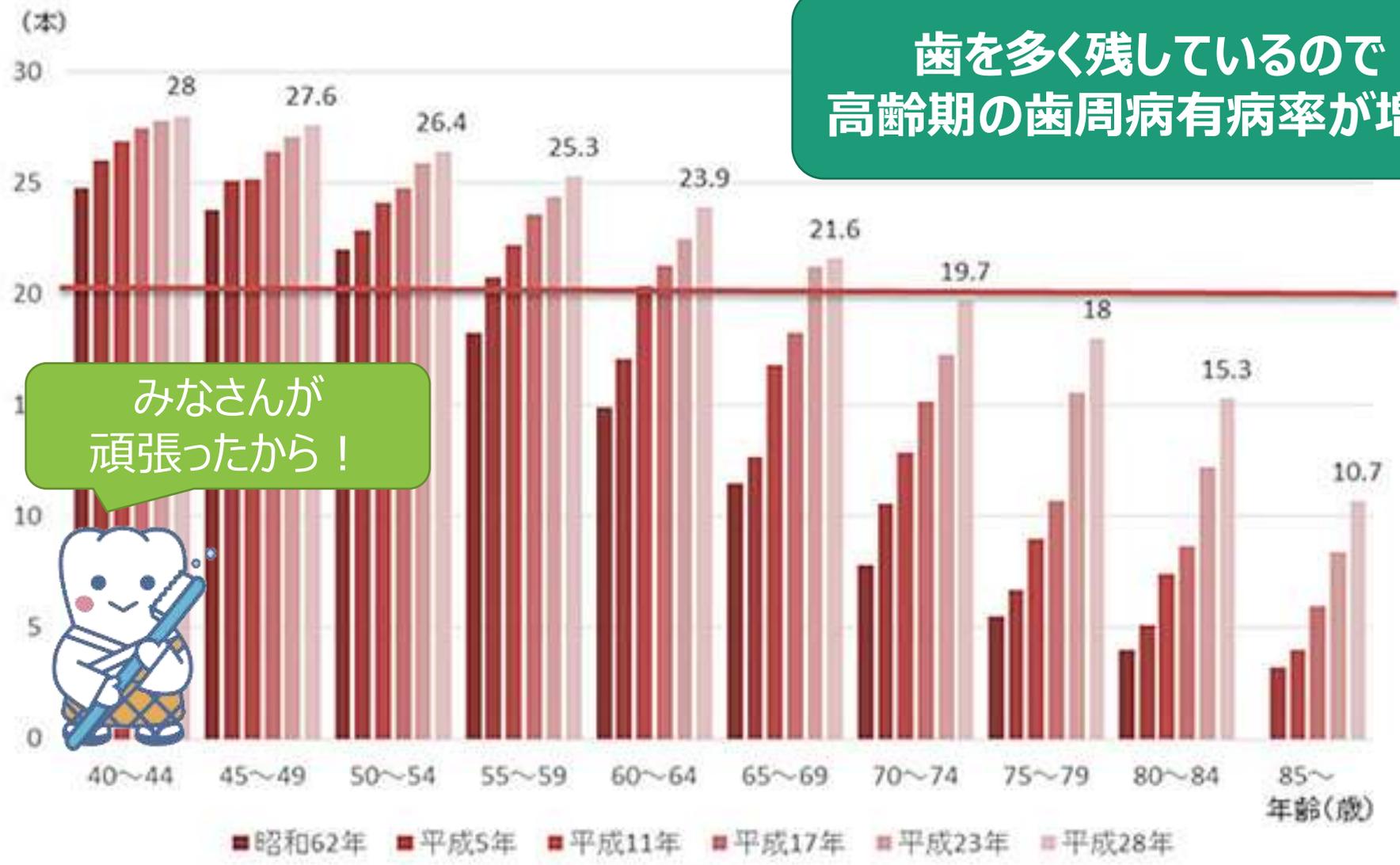
2016

2015

「お年寄りには歯が無い」時代は 今は昔

歯の数は減らなくなってきている

歯を多く残しているので
高齢期の歯周病有病率が増加



みなさんが
頑張ったから！



年齢階級別現在歯数の経年推移 (歯科疾患実態調査より作成)

互いに影響し合う認知機能と口腔機能

認知機能

口腔機能

栄養バランス不良・低栄養
脳血流・刺激の変化
血行感染・炎症波及により
血管内皮細胞への影響や外
毒素の波及によって認知機
能が低下する

慢性炎症により
歯槽骨喪失して
咀嚼機能低下して

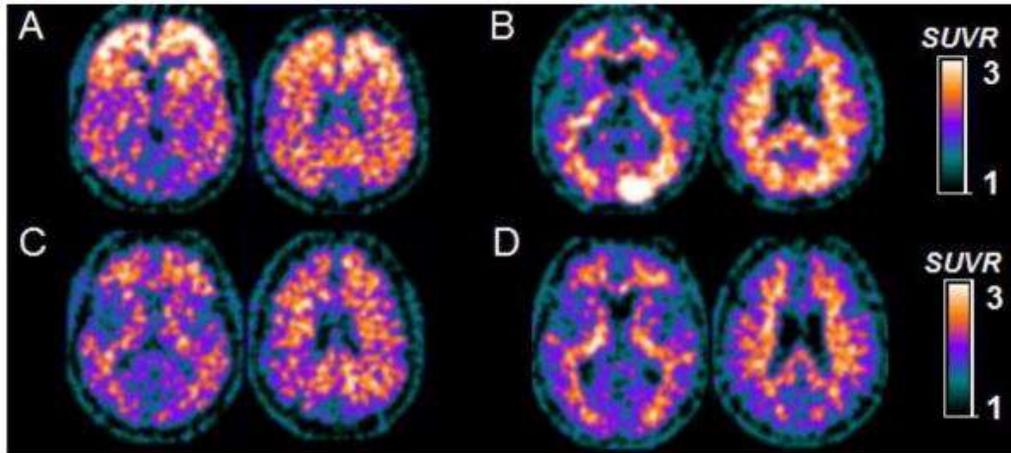
- ① 歯周病を放置すると
- ② 口腔衛生不良だと
- ③ 歯科通院がないと
- ④ 口腔機能低下により

認知機能低下があると
① 歯磨きがうまくいけなくなり
② 口腔をダイナミックに動か
さなくなり

- ① 歯周病が増えて
- ② 口腔の筋肉が弱り

- ① 歯が減少する
- ② 咀嚼機能低下する
- ③ 口腔疾患が増える
結果的に低栄養

歯肉の慢性炎症が認知症発症に関与



歯肉の臨床的アタッチメントロス
は
プロービング時の出血より
A β 蓄積に強い影響



今現在の炎症より、

**長期間蓄積した
歯肉の炎症が**

関与している可能性

[Kamer AR¹, Pirraglia E², Tsui W², et al.](#)

Periodontal disease associates with higher brain amyloid load in normal elderly.

[Neurobiol Aging. 2015 Feb;36\(2\):627-33. doi: 10.1016/j.neurobiolaging.2014.10.038. Epub 2014 Nov 5.](#)

P.g.菌の関与

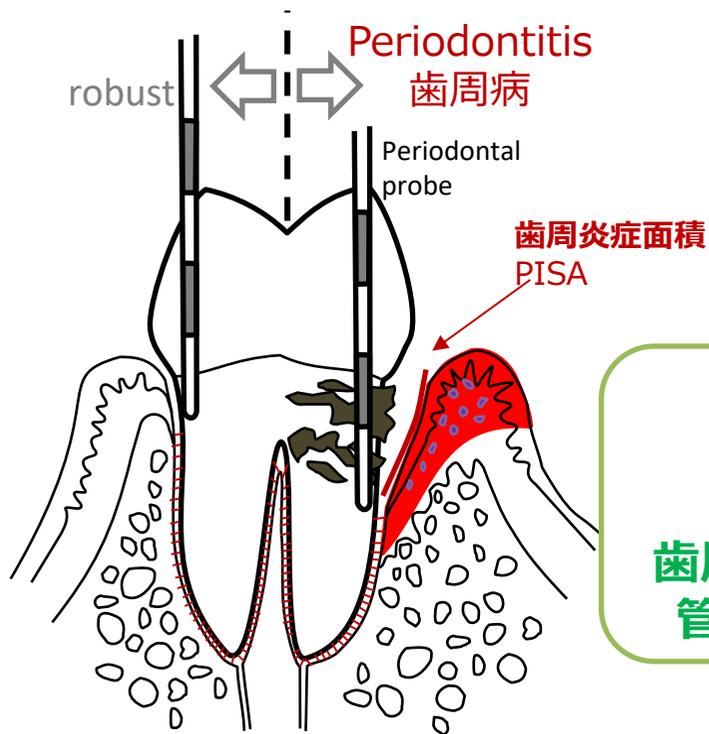
トレポネーマ菌種の関与

特に歯周病の悪化要因の細菌が関与していることが判明！

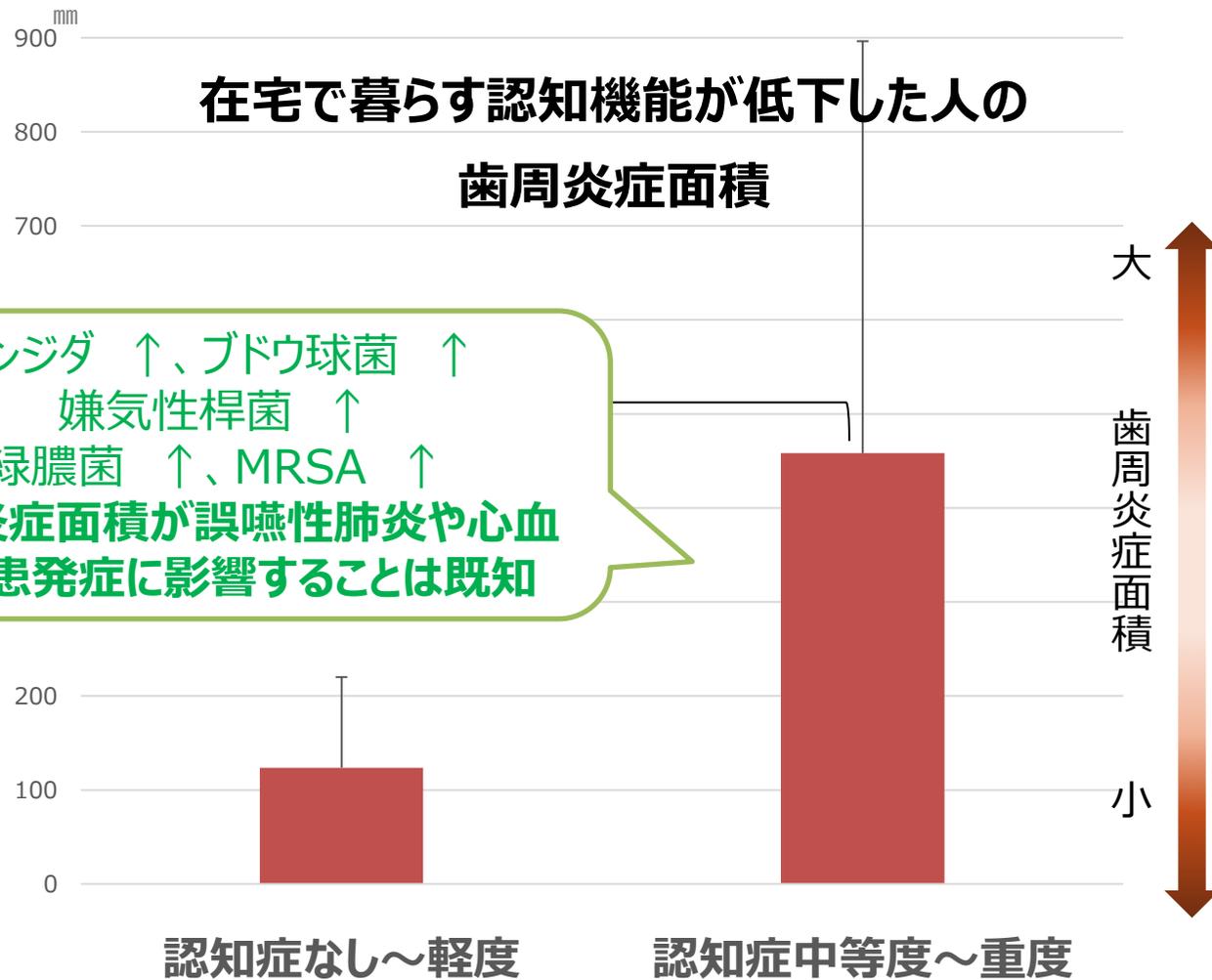
periodontopathic virulence factors in short-term postmortem Alzheimer's disease brain tissue. [J Alzheimers Dis. 2013;36\(4\):665-77.](#)

Treponema in the human brain and their association with Alzheimer's disease. [Oral Microbiol Immunol. 2002 Apr;17\(2\):113-8.](#)

知らず知らずに放置してしまっている歯周病



カンジダ ↑、ブドウ球菌 ↑
嫌気性桿菌 ↑
緑膿菌 ↑、MRSA ↑
歯周炎症面積が誤嚥性肺炎や心血管疾患発症に影響することは既知



ひどい感染や低栄養となつてから気付くことも多い

定期的な関わりが豊かな生活につながる

痛い時だけ歯科受診スタイル

口腔の訴えなし



認知症の進行



本人にとっても嫌な出来事
口腔の状態は悪化



痛い時だけ
歯科依頼



★さんはどんな人なのかしら?
普段の様子が分からないし、
うまく関係がつかれない...

ちゃんとできなかった...

定期的に歯科受診スタイル

口腔の訴えなし



認知症の進行

なんとも
ないよ



歯が折れ
ちゃった



すぐ修理して
もらえてよかった



あ、知ってる人...

いつもおか
げさまで...



問題発生前から対応できるので
本人にとっても不快症状は少ない
口腔の状態が可及的に維持できる

何もなくても定期的
に歯科依頼



初診の★さんとおしゃべりができた。ご自分なりの口腔ケアの方法も確認できた。これからゆっくり関係を作っていきますね

少しづつ慣れ
ながら歯石取
りしようね



★さん慣れてきましたね～！定期的に専門的口腔清掃をすると維持できてますね！★さんの人となりもわかってきたし、良い関係つれてると思う

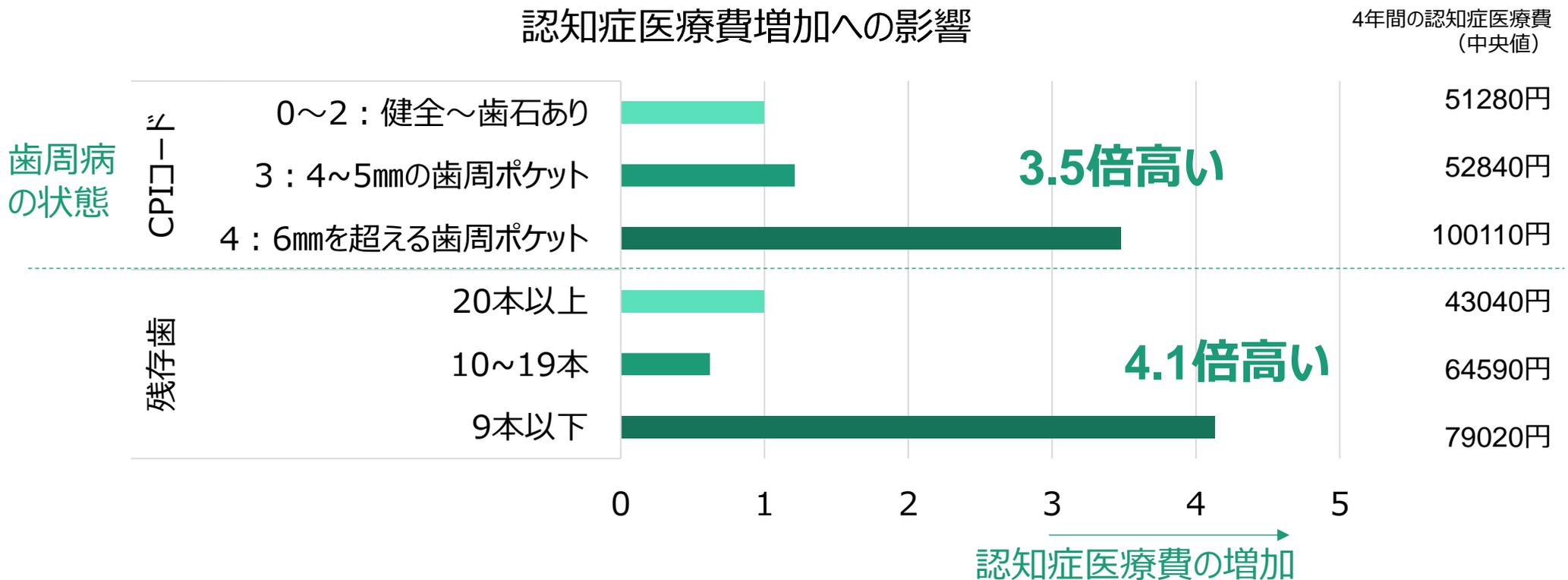
定期的な受診で困った時すぐに対応できる
慣れた関係が築けていると拒否が少ない

★さん重度になって機能低下してきたけど、★さんに合わせた方法で歯科介入が継続出来たから、口腔の状態が保たれている。なんとか肺炎にならずに食べられていて良かった



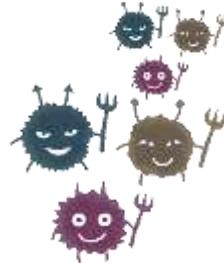
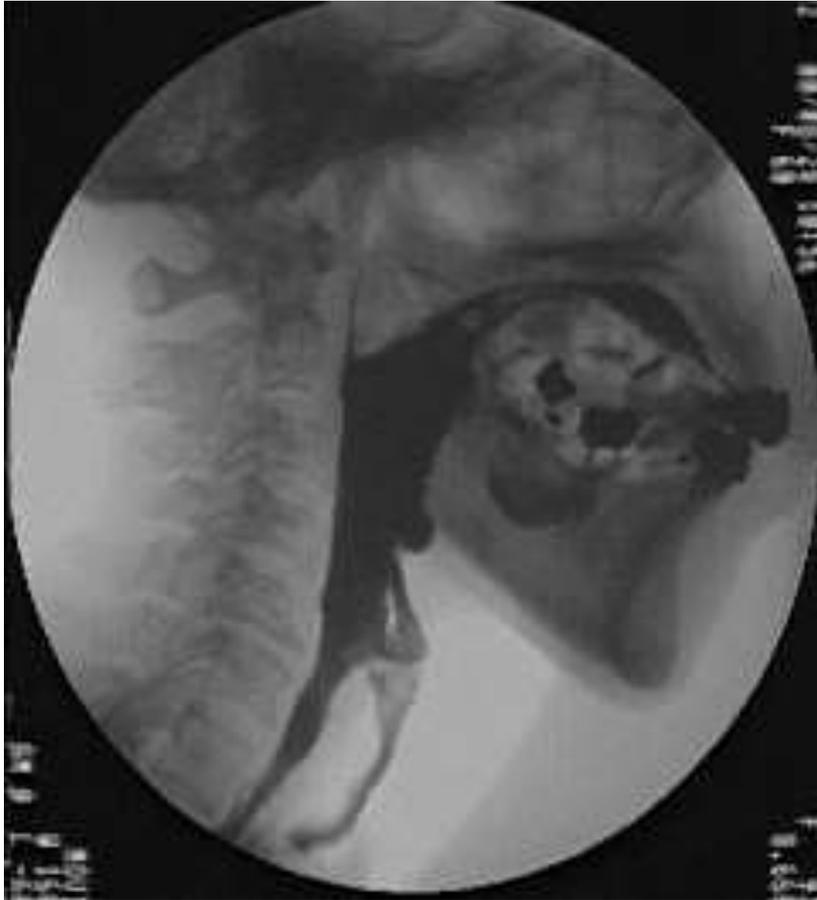
口腔の不健康がある人は認知症医療費が多い

歯周病の状態が悪い人、または歯の数が少ない人は、他の年齢や健康状態を調整しても、認知症を主な疾病としたときの医療費比率が大幅に高かった。

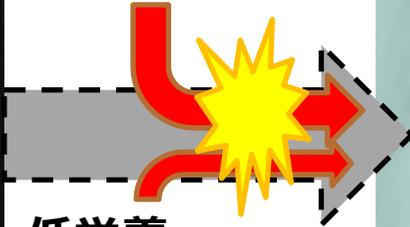


調整因子：年齢、性別、喫煙習慣、体格指数、病歴（脳血管障害・心血管系疾患・糖尿病）

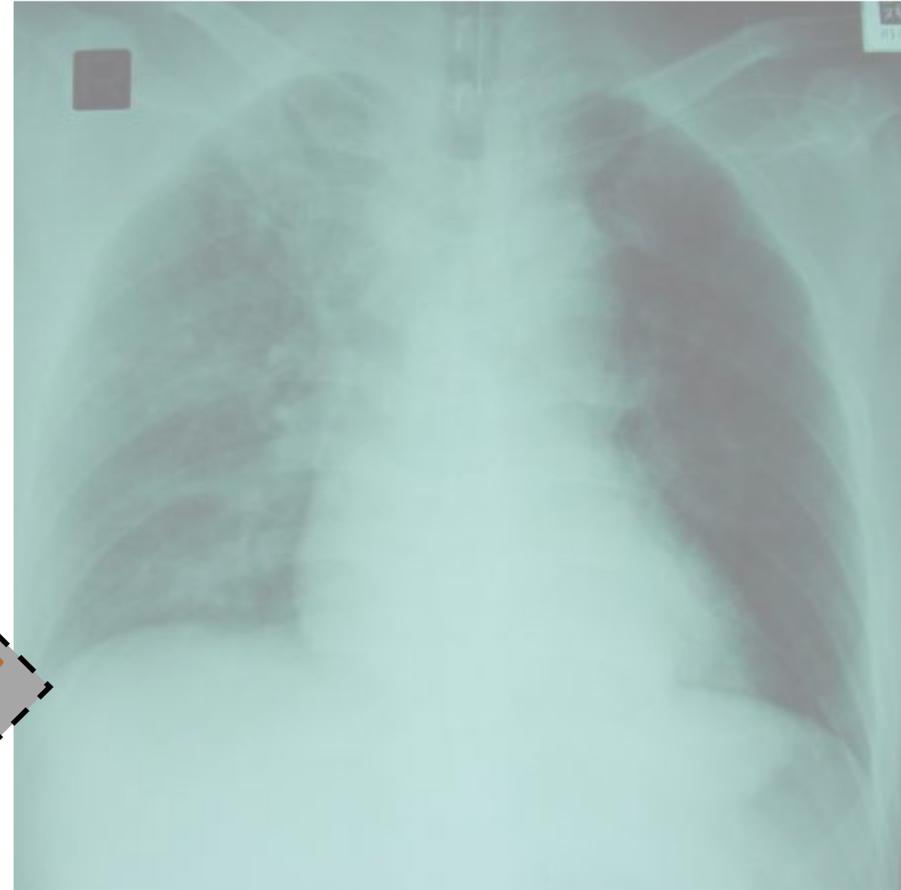
口腔環境を整えることが本人の快適な生活に



口腔・咽頭
の細菌数



低栄養
免疫低下



誤 嚥

肺炎の原因
を断ち切る！

誤嚥性肺炎**予防**

口腔・咽頭の細菌の増加、飲み込む機能の低下による誤嚥、
免疫能の低下が同時に生じることにより誤嚥性肺炎が生じる

急に口を開けてくれなくなりました！
理由は話してくれない…！

アセスメントが適切に行われなければ疾患の進行
と別の医療ケアが必要な状況の区別ができない



口の中にひどい口内炎が！！

認知症の経過の中の食べない・食べられない

アルツハイマー型認知症の経過

2-3年

4-5年

6-9年

軽度

中等度

重度

終末期

食べる実行機能

Self eating

Self eating with support

Assisted feeding

Comfort feeding

食べられない要因

うつ
心理的要因

薬剤の影響
併存疾患悪化
(生活障害によるもの含む)

環境整備
関わり方の整備

(認知機能低下による)
環境との
関わり
の障害

姿勢調整
食形態調整

(認知症進行による)
口や喉など
身体機能
の障害

寄り添い
家族ケア

覚醒
発動性
の障害

食べるための口腔

セルフケア不十分

口腔疾患増悪

オーラルフレイル

摂食嚥下機能低下

認知症の人本人・家族に聞いてみた 「歯科受診して良かったこと」

◆認知症であることを歯科医院に
伝えたことで、

- ・認知症の**症状を理解**し、
- ・本人の様子に合わせて**共感**し、
- ・**親切丁寧で安心できる言葉かけ**で
- ・繰り返し励ましてもらったこと、
- ・訪問歯科診療に来てもらった
- ・**食生活や口腔ケアについて**
アドバイスをもらったことが良かった、
と報告された。

定期的な受診で口腔環境を整える
ことが本人の快適な生活につながっ
た、という報告もあった。

はやいうちから**定期的に**
歯科受診することが大事
と教えてもらった

慣れている先生に
続けて見てもらえ
て良かった

病名を伝えたら、
症状に合わせて対
応してもらえた

定期的に見てもらっ
たら口臭も減って、
気持ちよく入れ歯が
使えている

飲み込みや食のことも
教えてもらえて良かった

訪問診療の先
生が上手に話し
かけてくれた

認知症の人に慣れて
いて理解のある先生
でありがたかった

良かった！

口は身体の入りの口
食べる楽しみは大事！



口腔は最期まで継続支援可能：口腔へのケアは尊厳とコンフォートを守る